

令和5年度

赤羽根の里だより

茅ヶ崎市立赤羽根中学校 学校便り

令和5年11月13日(月)

校長 高橋 励

週末、いきなり冬が迫ってきましたね。
先週、福祉体験学習と職業体験学習を終えました。これは学校だけでは成し得ない体験の場づくりへのご協力があったとのこと。近隣・地域のみなさま、ありがとうございました。

3年生は後期中間テストが終わり、卒業後の進路に正面から向き合う時期になります。心も体も、そして社会的な立場も含めてオトナになっていくために、今の自分と向き合ってほしいと思う今日この頃です。

Dear Student(*^_^*)

No Wrong Door

(間違ったドアはありません)

「王様の耳はロバの耳」って童話、知っていますか？昭和時代の子どもにはポピュラーなお話なのですが、平成時代後半のみなさんにはどうなのでしょう？

このお話の中に、とても重要な役割を担う「あな」が登場します。この「あな」のおかげで、とある男の気持ちのモヤモヤが軽くなり、別のある男の悩みが解消されます(でも、別に「あな」がスーパーヒーローのように何かをしてくれるわけではないんですけどね)。

今日から教育相談期間。「教育相談」って、「王様の耳はロバの耳」の「あな」みたいだなあ、と、わたしはよく思うのです。困ったなあ、とかどうしたらいいのかなあ、と思っている人ほど「誰かに話したってどうにもならないし、人に知られたくないし…」とつぶやいているように思えます。でも、「何もしてもらえなくても話ができてよかった」という感想や「隠す必要がなくなった分だけ気持ちが楽になった」という言葉もよく聞きます。

「あなたの秘密を打ち明けない」とムリをいうわけではないですが、聞いてもらうだけでちょっと楽になることも意外とあるみたいですよ。

ところで、「No Wrong Door」という言い回しがあるそうです。先日、「ヤングケアラーの支援」をテーマにしたお話を聴くなかで出会った表現です。この言葉には「何かに困ったら、目の前にあるドアをノックしてください。どのドアを選んでもそれは間違ったドアではありません。ノックしてくれば、そのドアの向こうには、どうしたらよりよく解決に向かえるかをあなたと一緒に考えてくれる人が必ずいます」というメッセージが込められているそうで、素敵だな、と思い書き留めました。

あなたにとって、赤羽根中学校の先生はたくさんさんのドアであってくれているのでしょうか。どの先生のドアをノックしても「それは間違ったドアではありませんでした」と思ってもらえたらうれしいですよ。よければ、試しにノックしてみてください。

赤羽根中 生徒の活動の記録

茅ヶ崎市教育委員会表彰(11月1日)

1年生

スズキワールドカップ2023

第34回エアロビック世界大会 優勝

令和5年5月5日(金)の神奈川新聞にも取り上げられています。

COCOOで学校評価アンケートをご案内しています。期間は11月24日まで。ご協力お願いいたします。